

## にし阿波～剣山・吉野川観光圏整備計画（案）の概要

はじめに

西部圏域の2市2町と徳島県は、平成20年10月の観光圏制度発足と同時に、「にし阿波観光圏整備計画」を策定し、全国で16か所、四国で最初の観光圏として、観光庁から認定を受けました。

第1期の取り組みの成果を持続し、更に発展させるため、第2期となる観光圏整備計画を、引き続き、圏域の2市2町と徳島県が共同して策定します。

1 計画の名称

## 「にし阿波～剣山・吉野川観光圏整備計画」

## (1) 基本コンセプト

「剣山に代表される山の資源」と「四国三郎・吉野川に代表される川の資源」の恵みが育んだ、独特の歴史文化、伝説伝承、暮らしを基に、他地域との差別化を図り、独自ブランドの確立を目指します。

## (2) キャッチコピー

基本コンセプトに基づき、キャッチコピーを次のとおりとします。

てんがい くおん  
「天涯のしずく 久遠の大河へ」  
～四国 剣山・吉野川紀行～

しじま ふうが  
静寂の森を潤し、風雅の里を育み

やがて豊かな恵みをもたらす奇跡の流れへ

それは <sup>いにしえ</sup>古より絶えることのない人と天地の旅物語

A River Runs Through It

2 基本的事項

- (1) 観光圏の区域 美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町
- (2) 滞在促進地区 大歩危・祖谷地区
- (3) 実施体制 観光地域づくりプラットフォームである「一般社団法人  
そらの郷」を核とする
- (4) 整備計画目標 延宿泊者数など〔量的目標〕と旅行者満足度などの  
〔質的目標〕を設定
- (5) 計画期間 平成25年4月～平成30年3月

### 3 基本的な方針

#### (1) 圏域の状況

- ① 自然特性 四国の中央に位置し、雄大な自然環境を有する地域
- ② 観光資源 「脇町うだつの町並み」、「大歩危・小歩危」、「ラフティング」など自然や景観、歴史文化伝説伝承、体験など
- ③ 交通地理 道路や鉄道で繋がった四国の交流拠点  
(平成 26 年度には徳島ゾウツヨソ供用開始で近畿に直結)

#### (2) 基本戦略

- ① ブランド戦略の推進  
「日本の顔」となる「ブランド観光地域」を目指す。
- ② 「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりの推進・浸透  
にし阿波体感プログラムイベント「にし阿波と恋する時間」の実施
- ③ インバウンド重点市場戦略  
欧米に加え急速に経済成長するアジアの観光需要を取り込む。
- ④ 観光地域づくりプラットフォームの充実強化  
「一般社団法人そらの郷」の体制の充実強化を図る。

### 4 観光圏整備事業の概要

#### (1) 宿泊に関するサービスの改善及び向上

観光圏全体へ観光旅客の滞在及び回遊を促進する取り組み

#### (2) 観光資源を活用したサービスの開発及び提供

- ① ブランド空間づくり  
地域らしさを演出する文化資源、自然資源の保存・活用等
- ② 滞在プログラムづくり  
農作業体験や自然を活かしたアクティビティ等の体験・交流
- ③ 受け入れ態勢整備  
地域のホスピタリティの向上

#### (3) 移動の利便性の向上

観光圏へのアクセス及び観光圏内における移動の利便性の向上

#### (4) 情報提供の充実強化

滞在プログラム、宿泊、飲食、移動等の各種情報の効果的な情報提供  
案内、相談対応、苦情処理等を行うワンストップ窓口づくり

#### (5) その他の事業

ブランドの確立及び維持管理  
観光地域づくりマネージャーの確保・育成

### 5 今後のスケジュール

2月14日 にし阿波観光圏協議会総会開催

3月上旬 第2期観光圏認定申請(中・下旬観光庁にて第三者委員会開催)

4月1日 観光庁において第2期観光圏認定の公表